

お知らせ

資料提供

三次記者クラブ

## 地元自治振興会主催行事の一環として 尾道松江線の現場をご案内します

～「歩いて歩いてふれあい健康づくり」の開催～

三次市吉舎町吉舎地内から海田原地内まで、中国横断自動車道尾道松江線のウォーキングによる現場見学会を行います。

この行事は、吉舎自治振興会が心身の健康づくりを目的とし、年間10回、4km程度を歩く「歩いて歩いてふれあい健康づくり」の5月度の計画にあたり、『新たな道路の開通に伴い発展する郷土に夢を馳せ、開通を楽しみに待ち望んでいる地元住民が多い中、変わりゆく景色や工事の様子を見学することで、工事に対して一層の理解や関心を高めることができ、世代を担う子供たちには貴重な機会となる』との理由から企画の申し出があり、国土交通省三次河川国道事務所の工事現場の見学を兼ね開催することとなったものです。

今回の見学会では、尾道松江線最長クラスの海田原橋を含む2つの橋上を歩行し、日頃は下から見上げているだけの橋梁の長さや高さを実感していただきながら、トンネル1箇所も通過する全長約4kmの歩行体験を通して、尾道松江線が開通した状況をイメージしていただきたいと考えています。

開催日時：平成24年5月13日(日)8:00～11:00(小雨決行)

集合場所：吉舎コミュニティーセンター(7:30集合)

(三次市吉舎町吉舎552番地1)

※構造物の名称は、仮称です。

●問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

新宅 清人

【担当】調査設計課長

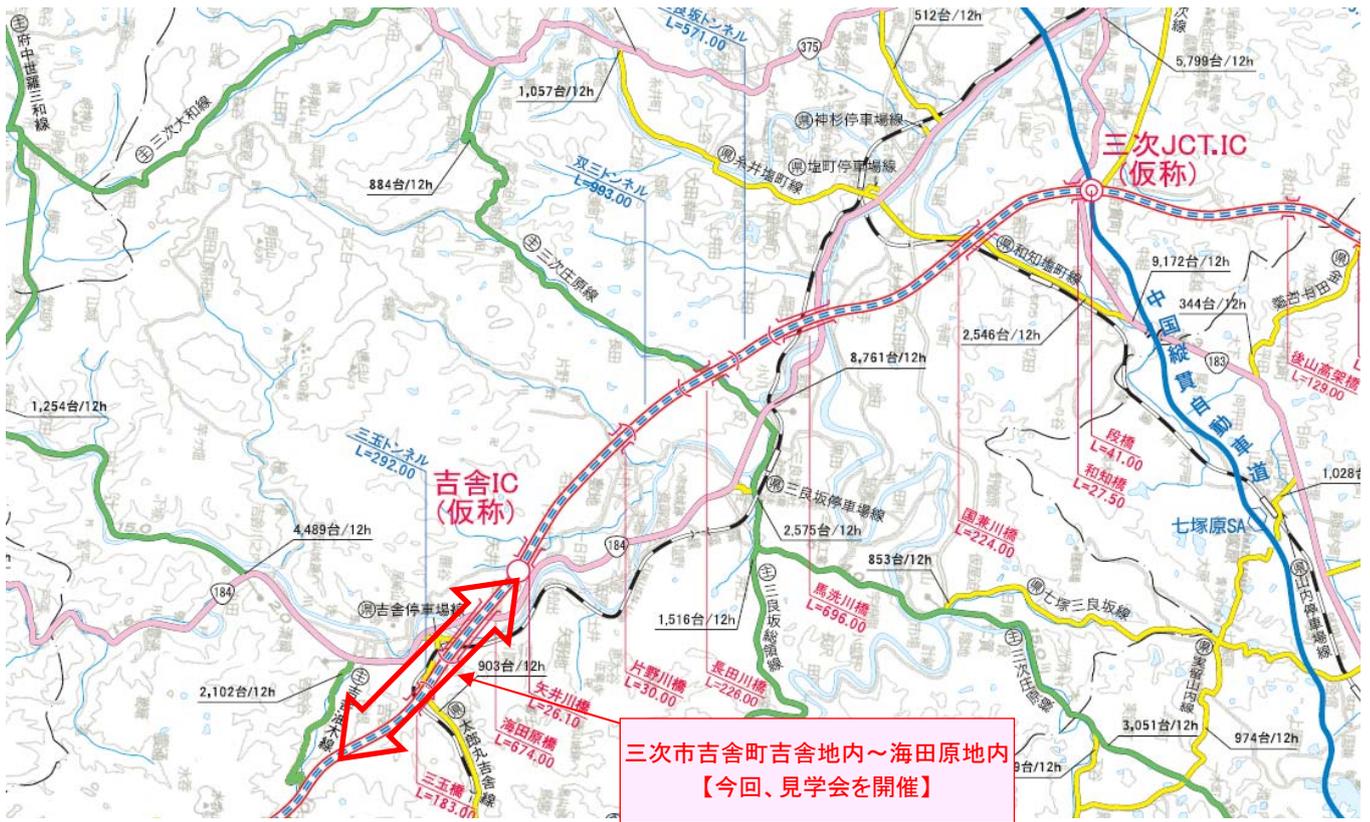
景山 浩孝

【広報担当】建設専門官

中井 喜美男

TEL:(0824)63-4121(代表)

# 位置図



# 現地状況写真



# 中国横断自動車道尾道松江線

事業費 6,900百万円(島根県)  
27,996百万円(広島県)

道-5

●競争力のある地域経済社会の再構築  
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり  
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

部分完成

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、尾道JCT～三刀屋木次IC間(延長110.9km)は、直轄高速方式により整備しており、平成23年度までに延長31.5kmが供用しています。

平成24年度は三次JCT・IC(仮称)～吉田掛合IC間(延長48.7km)の改良、橋梁、舗装、トンネル、トンネル設備工事を推進し、平成24年度内の供用を目指すと共に、世羅IC～三次JCT・IC(仮称)間の文化財調査及び用地買収、改良、橋梁工事を推進し、平成26年度までに全線供用を目指します。

## 位置図



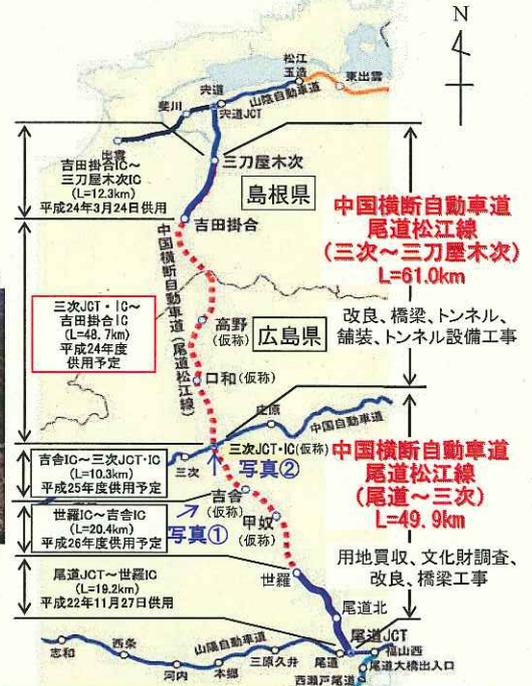
## 進捗状況写真



写真① 甲奴IC～吉舎IC間(海田原高架橋)



写真② 三次JCT・IC～口和IC間(三次JCT・IC付近)



## 期待される整備効果

●主要都市間の所要時間短縮及びりだんだんシーの確保  
尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



※所要時間は、下記の条件により算出  
整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度  
現況：尾道JCT～世羅IC間はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度  
整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

●観光の支援(日帰り圏の拡大)  
尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※時間圏は、左記と同様に算出  
資料：広島県、島根県、境港市観光動態調査結果(H22)  
東京発バックツアーの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を進行する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。